

令和3年度第4回市立岸和田市民病院地域医療支援委員会 概要書

1 名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開催日時	令和4年2月10日(木) 午後2時から午後2時40分
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3階 講堂及びオンライン(Webex)
4 公開・非公開の別	公開
5 出席者	中山委員長、久禮副委員長、泉本委員、山本(昇)委員、源委員、市川委員、 昼馬委員、熊取委員、小切委員、尾上委員
6 欠席者	木下委員、山本(隆)委員、尾野委員、
7 関係職員及び事務局	委員10名、事務局9名
8 傍聴人数	0名
9 案件	第1号議案 地域医療支援病院業務報告について ・令和3年度の実績報告(10-12月分) 第2号議案 市立岸和田市民病院からのご案内 ・今後の人事について ・第5回ブラッシュアップセミナーのご案内
<p><b>【議事概要】</b></p> <p>1. 開会</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <p>3. 案件(1) 地域医療支援病院業務報告について 令和3年度の実績報告(10-12月分)について事務局より説明。 委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。 各委員：なし 委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。</p> <p>4. 案件(2) 市立岸和田市民病院からのご案内について 委員：次第では「今後の人事について」となっているが、先に新型コロナの現状を簡単にお伝えさせて頂く。今朝の現状で当院に36名の方が入院している。当院は中等症・軽症の患者用としているが、大阪府からは軽症の患者は入院対象とせず、中等症以上の方を入院対象とするように指示が出ている。大阪府下にベッドが無いからである。当院もコロナ用ベッドは満床になっており、これ以上受入れが難しい状況にある。救急外来には、自宅療養の方がしんどくなり救急要請をされた方が沢山来院される。最近特に、岸和田・泉州地区以外の地域、例えば最近では東大阪市で調子が悪くなったコロナの患者を当院で受入れたが、19件の病院で受入れ困難であったということであった。コロナ陽性で調子が悪くなった患者がなかなか病院に入院できない状況が大阪府内では起こっている。泉州地域よりも特に大阪市内と東大阪市が人口も多いこともあり、状況は厳しい。また、コロナだけではなく、一般の救急患者も受け入れまでに時間がかかっていることがマスコミでも取り上げられているが、実際その通りで、今まで無かった大阪市内の救急隊から、かなりの頻度で当院の救急へ問い合わせがある。このようにコロナの患者だけでなくコロナ以外の患者も、救急の受入れ状況は厳しくなっている状況である。それから、当院では発熱外来を行っており、救急センターで対応している。コロナ陽性の入院患者を受ける、或いは一般の患者を受ける、また発熱外来を行っているということで、救急センターは非常にマンパワー的にも場所的にも厳しい状況である。そのため、発熱外来については、コロナかどうかの検査の</p>	

み実施し、コロナが陰性であれば、調子が悪くなった場合はかかりつけ医へ受診していただくように、無理を言って医師会の先生方に診察していただいている。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

委員：コロナ陽性率や患者数はどのくらいなのか。

事務局：発熱外来だけを取り上げると現在は 8-9 割の陽性者が出ている。ちなみに昨日は 100%であった。患者数はここ数日は、少し減少しているが、20-30/日程度の方が来院し、その倍以上の問い合わせがある状況である。検査だけして欲しい、というような症状が無い方の受入れはお断りしている。

委員：大阪府下での検査数と陽性率は、毎日大阪府のホームページで公開されているが、最近毎日 PCR 検査と抗原検査を合わせると平均 3 万数千件程度/日検査されており、陽性率は毎日 3-4 割程度ある。この検査は発熱外来等ではなく、登録された全ての検査であるため当院の陽性率よりは低くなっているが、3 万数千件実施した内の 3-4 割が陽性であるので、数としてはかなり多い。岸和田市のホームページからも大阪府へのホームページを閲覧できるようにリンクを貼っているので一度ご覧頂きたい。

委員：陽性率が 8-9 割というのは、全てオミクロン株なのか。普通の風邪ひきやインフルエンザは殆ど聞かなくなったが。また、今までのコロナは無くなったのか。

委員：陽性であって、それがオミクロン株かそれ以外かどうかは、検査していない。ただ日本の傾向から、殆どオミクロン株と考えていいと思われる。ちなみにインフルエンザの方は、殆どいない。

委員：子供の風邪も無くなったのか。

委員：当院で診察している限り、子供で発熱した患者は、ほぼコロナ陽性になっている。ちなみにインフルエンザは日本で殆ど発生していない。

副委員長：資料ではインフルエンザは日本全体で 50-60 人レベルである。岸和田の話をする、風邪ひきも殆ど来院しない。来る人については、風邪っぽいので抗原検査を行うと陽性が出る。今は検査キット自体が不足している状況で、我々も検査キットの使用をセーブしており、心配なので診てください、という申し出は、市民病院と同じくお断りしている。症状がある方を診察すると、先程の報告の様に 8-9 割がコロナ陽性で、残りの方は陰性なのかというところではなく、今朝の発熱で今日来院したので、今日はまだ陽性が出てないだけで、明日すれば陽性が出る、という状況で、ほぼ陽性である。ちなみに当院の様な医師一人体制のところは毎日 15 人程度来院し、その方は殆ど陽性である。かなりシビアな状況である。

委員：最近薬局でも無症状の方が来られ検査する場合がある。その時、無症状で陽性が出た場合、市民病院は発熱外来があると報告があったが、熱が無ければ受入れられないのか。その場合は医師会等近医での受入れはどの様になるのか。

副委員長：無症状で抗原簡易キットでの陽性の場合だけでは、陽性とみなさない。そこから医療機関に受診し PCR 等正式な核酸増幅検査を実施し陽性と判定してから、やっと発生届けが出される。厚生省が承認した体外診断用医薬品ではなく研究用と称する承認されていない検査キットで陽性判定が出て、医療機関にかかる方が多い。岸和田市内では 20 施設程ある A 型医療機関へ受診していただきたい。

委員：そこは発熱外来をしている医療機関とっていいのか。

副委員長：そうである。府のホームページで発表している。来院された方を対応する A 型医療機関は 20 施設程、かかりつけ患者だけ対応する B 型医療機関を合わせると 150 医療機関中 50 施設程ある。発熱症状を診察しているので、かかりつけ医へ行ってくださいとご案内頂きたい。

委員：良く分かった。

副委員長：かかりつけ医がない方は、保健所がA型医療機関をいくつか紹介されるので、保健所を案内頂きたい。実際に当院にも保健所経由の患者が沢山こられる。

委員：オミクロンは風邪と一緒に思うのは、良くないのか。

副委員長：大阪で100名以上の方が亡くなっている。殆どオミクロンである。指定感染症の2類から5類に落とすというも議論があり、若い方は無症状だと言われているが、ご年配の方や抗がん剤治療を受けている方、糖尿病がありインスリンを打っている方等は、罹ると命がけになる。やっぱり風邪ではない。はっきりと2類の感染症として扱わなければならない。

委員長：いろいろと誤解されている面もある。マスコミを見ているもそういう意見もあり、ごもっともな質問かと思われる。感染者も多く、感染する確率も高いため、トータルしてみると、結局患者数が多い。重症化するのが少ないというのも、沢山の患者さんに対して少ないということであって、トータルしてみると同じような数の患者が亡くなっていくのではないかということも言われている。

副委員長：とにかく第6波は第5波を超えている。全体としては軽症な方が多いが、裾野が広ければ、ピークは高くなる。高い山のとっぺんは雪が被る様に、ピークのとっぺん、高い山のとっぺんは重症者がいる。今はクラスター発生については、発表しないが、実際、近隣のサービス付き高齢者住宅ではクラスターが発生している。クラスターは発表しなくなった理由は調査が追い付かない等と考えられるが、高齢者施設でクラスターが発生していることは危機的な状態だと思っている。若い方との意識の差は大きい。高齢者施設は戦々恐々としている。

委員：一週間程度で感染の流行は終了すると考えているが、この見通しはいかがと思われるか。

副委員長：数字の流れは新聞発表を確認していただき経過を追っていただきたい。

委員長：他にご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。

今後の人事案について院長より説明。

委員：定年退職後はいかがされるのか。

委員：とりあえずは何もしない。

委員長：長い間ご尽力いただき残念ではあるが、定年退職後も宜しくお願ひしたい。他にご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。

「第5回ブラッシュアップセミナーのご案内」について事務局より説明。

委員長：参加方法は、資料にあるQRコードを読み取って応募する形になるのか。

事務局：QRコードを読み取って、氏名等を登録いただく流れになる。

委員長：他にご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。

## 5. その他

委員：岸和田では、外国人は全国的にも少ない方であるが、この病院では外国人の受入体制と利用状況等を分かる範囲で教えて頂きたい。

事務局：外国人だからといって、お断りすることはまずない。翻訳の機械等を用い、可能な

限り会話しながら診療を受けて頂いている。利用状況についての詳細は不明だが、岸和田で勤務されている外国の方も沢山おられるので、現時点でも入院患者や外来通院されている外国の方は多くいる。産科をご利用いただく方も多い。コミュニケーションは十分とは言えないかもしれないが、遠隔通訳サービス等も利用しながら、可能な限りご理解いただけるように対応している。

委員長：ご理解いただいたということによろしいか。

各委員：よろしい。

委員長：本案件を了承する。

事務局：令和4年度第1回委員会は令和4年5月12日（木）に開催を予定している。

## 6. 閉会